



青森市の東奥日報社を訪れ、甲子園での健闘を誓う八学光星ナイン。4日午前

センバツ頂点誓う

光星ナイン、本社を来訪

第91回選抜高校野球大会(3月23日から12日間)で出場校に選出され、春・夏通算19回目の甲子園に挑む。2010年春からチームの指揮を執り、自らを

市で開かれた選考委員会で出場校に選出され、春・夏通算19回目の甲子園に挑む。2010年春からチームの指揮を執り、自らを

日本一になる難しさを一番知っている監督という仲井監督は「今年のチームは優勝を目指す力がある。さらにレベルアップし甲子園に乗り込み

たい」と話し、11年夏から3季連続で準優勝まで迫りながら届いていない「優勝」へ並々ならぬ意欲を見せた。

主将武岡龍世(2年)は「東北悲願の優勝旗を持ち帰りたい」と、チーム一丸で目指す「全国制覇」へ向けて決意を力強く語った。

選手らは同日、県庁を訪れ、佐々木郁夫副知事と和嶋延寿県教育長にも

センバツ出場を報告した。初戦の対戦相手を決める組み合わせ抽選会は3月15日に行われる。(米山竜一)

仲井宗基監督と選手20人、中村良寛教頭らが、本社の河田喜照執行役員編集局長らと懇談した。八学光星は現チームとなった昨春秋、自慢の強打と堅守を武器に県大会と東北大会で優勝。明治神宮大会では準々決勝まで進んだ。

ぐるり動画

1月25日、大阪

見方は第3社会面に

かざして動かそう

フォト動画